

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：警察費 項：警察活動費 目：刑事警察強化費

事業名【新】人質立てこもり事件対策装備資機材整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 刑事部 捜査第一課 電話番号：058-271-2424 (内4111)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 872 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	872	0	0	0	0	0	0	0	872
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

人質立てこもり対応部隊は、平成15年10月1日から運用を開始し、部隊員としては42名が現場直近で対応している。

部隊員は刃物・銃器等の凶器を使用する被疑者の立てこもり事案対処に備え、日ごろから各種装備資機材を活用して立てこもり事案の対応、実務能力向上に向けた訓練等を実施しており、今後も部隊員数と情勢に合わせた装備の更新・増強整備し、部隊員の安全確保を図る必要がある。

(2) 事業内容

人質立てこもり事件に対応するための備品の整備

(3) 県負担・補助率の考え方

県内で発生する人質立てこもり事件に必要な経費であることから、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	872	人質立てこもり事件対策装備資機材整備費用
合計	872	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

各種計画での位置づけ・関係法令

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ－２－（２）－⑤ 犯罪・交通事故防止への推進

○社会・経済の変化を反映した新たな犯罪への対策を強化する。

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

「安全・安心な「清流の国ぎふ」づくり」に資するため、人質立てこもり事件に対応できる装備資機材を整備、更新する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 実績	終期目標	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

人質立てこもり事件は突発で発生するため、対応実績、達成率を指標として示すことは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和6年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)</p> <p>3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価)	
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)</p> <p>3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)</p> <p>2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>他県の経験から認められた、機能不足(ズーム、夜間撮影、映像送信機能)、老朽化による電源問題を補填・解消するためには、捜査員が発生現場において凶器の殺傷圏内での活動をするしか方法がなく、警察官の殺傷・受傷事案発生 of 絶無を図るため、老朽化装備資機材の更新として機能を強化した装備資機材を増強整備する。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>今後も更新整備の機会に機能を強化した装備資機材を増強整備する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など</p>	